

一年間のふりかえり 筑穂保育所 令和7年3月		
1	運営管理	職員会議で連携を密に行い、飯塚市の保育理念、保育方針、保育目標を達成するように努めました。職員の資質・保育の質の向上を目指し、参集型やリモートで研修会に参加するなど、専門性を高める努力を行いました。
2	守秘義務	保護者や子どものプライバシーの保護、保育業務で知り得た情報や個人情報などの守秘義務について全職員に周知・徹底を行いました。
3	安全 危機管理	常に危機管理意識を持って、施設や遊具の点検・防災訓練・不審者訓練等を実施し事故がないように努めました。0歳児は午睡時の体の向きや体動をセンサーと保育士とのダブルチェックで確認、記録しました。今年度は、警察署の指導の下、交通安全教室や不審者対応訓練を実施し、職員の危機管理意識を高め、安全な保育を行いました。
4	保育環境	園内外の清掃を心がけ、子どもたちが健やかに生活できるように、環境を整えました。子どもたちが主体的に、好きな遊びを十分に楽しめるよう玩具を整備し、温度、湿度、換気、採光等の環境を適切な状態に保持しました。PM2.5等の大気汚染や暑さ指数に注意するなど、年間を通して施設内外の保健的環境や、安全の確保に努めました。
5	健康 衛生管理	手洗いや消毒、換気などをこまめに行い、感染症の流行を防ぐように努めました。感染症発症時は各クラス前に掲示し、保護者に周知しました。園医による内科検診、歯科検診、尿検査を年に2回実施し、子どもたちの健康管理に努めました。コードモニアアプリを活用し、登降園打刻を行うことで、安全・危機管理体制の向上につなげました。職員は自己の健康管理の徹底に努めました。
6	保育内容	「人権保育」に重点を置き一人一人を大切にしながら、発達段階に応じた保育実践をしました。子どもたちが自分で遊びを選び、安心感を持って活動できるように保育を行いました。
7	食育	食べることの楽しさ、食べ物と身体との関係や食事のマナーについて各年齢に応じた方法で知らせていきました。菜園活動を通して、食材への関心や、食べる意欲を育てました。
8	子育て支援	送迎時に子どもたちの様子を伝えるなどして保護者との対話を大切にしました。家庭における子育ての悩みを共有し、育児相談やケースに応じた援助を行い、子育てにかかわる情報を提供しました。
9	地域交流	3月にある筑穂交流センターまつりには依頼があれば5歳児が参加する予定です。中学生の保育体験を受け入れました。受け入れたことによって、園児や保育士にとっても、新たな学びや気づきをもたらす貴重な経験になりました。
10	苦情報告	いろいろなご意見、ご要望がありました。その都度真摯に受け止め、保育課にも報告・相談を行い、対応を行いました。職員会議を行い、全職員へ周知し解決のための取り組み、改善を行いました。第三者委員会に行くような相談はありませんでした。
外部評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の理念・保育方針や目標が掲示されており、職員全員が周知し保育に取り組むことは評価できる。 ・ 保育支援事業を取り入れた事により、4、5歳児に成長が見られるている。職員間で情報共有し更なる保育の質の向上を期待する。 ・ 保育環境を整え、子どもの主体性を育てる保育に取り組んでいる事は評価できるが、研修会への参加や園内研修等で研鑽を積み、職員全体の専門性の向上を期待する。 		
第三者委員(高崎 久代 ・ 松岡 えりこ ・ 城石 里恵)		